

テネシー・ウィリアムズの『欲望という名の電車』を精読する レジューメ



フランス国王ルイ 14 世に因んでルイジアナと名づけられた。元々、その領域はミシシッピ川流域のほとんどを含んでおり、南北は五大湖からメキシコ湾まで、東西はアパラチア山脈からロッキーマウンテンまで広大に広がっていた。1755 年からのフレンチ・インディアン戦争において、フランスがイギリスに敗れたことにより、1763 年にミシシッピ川を境として東側をイギリスに、西側はフロリダと引き換えにスペインに割譲された。フランスは秘密の条約で西側の領土を取り戻したが、ナポレオン・ボナパルトが 1803 年にアメリカ合衆国への譲渡（ルイジアナ買収）を決め、フランスの支配は終わった。ルイジアナ州の人口の 25% はフランス人を先祖に持ち、その姓がフランス起源となっている。（ブランチの姓 Du Bois）

多くの市や村の名前もフランス起源となっている。ニューオーリンズは、ルイ 14 世の甥、オルレアン公フィリップ 2 世に敬意を表して市の名前を付けた（ヌーベル・オルレアン）。特定の場所にはフランスが残した文化的遺産を見聞できるものがある。最初に上げられる例が、ニューオーリンズ市内のフレンチ・クォーターである。フランス人が造った多くの砦も再建され観光客に公開されている。

ルイジアナ州の民事法体系はアメリカ合衆国の中で唯一、コモンロー系（英米法）ではなく、大陸法系であり特にフランス民法（ナポレオン法典）をベースにしている。

（以上ウィキペディアより）

Elysian Fields Avenue (極楽通り 46) ↓



フランス・クォーターのバルコニー付きの家